

(1) 下はガガたる山です。ビューン、ビューン、山にあたれば円バンはコッパミジンです。

(2) スーツと円バンは山スレスレにたいらにとびました。山にぶつかることはうまくさけられたのです。そして、

(3) 近くのみずうみにしずかにおりていきました。ここは日本のまん中あたりにある名高いみずうみでした。ガンマアはよろこんで、

(4) 「これから日本東京へレンラクをとって、第二の太陽と空中マ城のことをおしえる。太郎、お前はすぐにいってこい。そしてついでにむかえの自動車をよこせ」「ロンロン、いってきます」

(5) こちらは天空高くかがやく第二の太陽です。ガンマアの円バンが下のみずうみにおりてからしばらくたったころ、まわりのキイロの光がふつときえ、ついで赤い光がきえて

(6) 太陽にうかぶ、大きなオワンをさかさにしたようなものがあらわれました。赤とキイロの光は、この大空中マ城のちいさいたくさんのマドから出ていたものでした。そして中では、

(7) 「いよいよ地上の日本からせめて、つぎつぎと世界中の国を征服するときがきた。みんなしつかりたのみますぞ」といいます。ああこの女王の目…この目がテレビにうつっていたのです。

果して…